

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

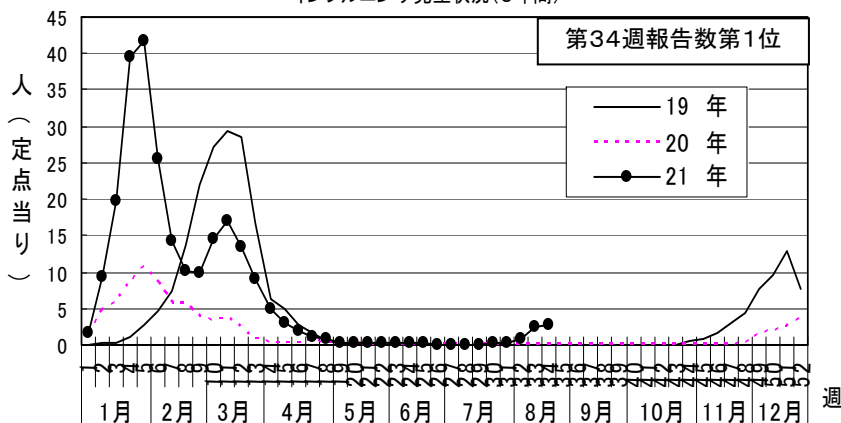


KAWASAKI CITY

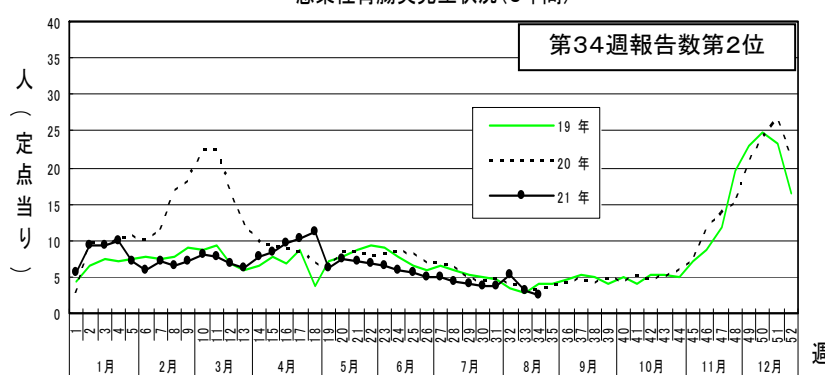
平成21年8月17日（月）～8月23日（日）〔平成21年第34週〕の感染症発生状況

第34週で報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 感染性胃腸炎 3) ヘルパンギーナの順となっています。インフルエンザの報告数が先週に引き続き1位になり、定点当り患者数も前週2.39人から2.67人へと増加しました。例年より非常に多い発生となっていますので、今後の発生動向には注意が必要です。

インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)

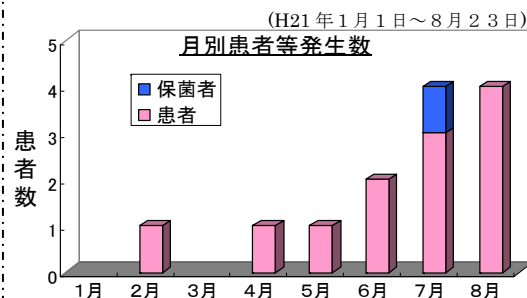


腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は、夏になると報告数が増加する感染症です。平成21年に34週までの累積報告数は13件となっています。激しい腹痛や下痢、血便などの症状がみられたときは、医療機関を受診しましょう。

◎予防のために

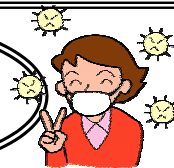
- ・生肉は十分に、中心部まで加熱してから食べましょう。
- ・生の食肉は食べないようにしましょう。
- ・ひとつの食品ごとに包丁やまな板を洗いましょう。
- ・トイレのあと、食事の前の手洗いを確実にしましょう。
- ・下痢をしている子供や高齢者の排泄物の処理をしたあとも、十分な手洗いをしましょう。



焼肉やバーベキューで、生肉をつまんだ箸でそのまま食べていませんか？
感染原因となることがありますので、必ず別の箸を用意しましょう。

インフルエンザ対策に～せきエチケットを守りましょう～

せき・くしゃみがあるときは、マスクをしましょう



せき・くしゃみがあるときは、口や鼻をおおきましょう。



- ◎ 鼻汁・痰（たん）などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう。
- ◎ せきをしている人にマスクの着用をお願いしましょう。